

(19)日本国特許庁 (JP)

# (12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平7-34500

(43)公開日 平成7年(1995)6月23日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

G 10 K 15/04  
G 10 H 1/00

識別記号 庁内整理番号

3 0 2 D 9381-5H  
1 0 1 Z 4236-5H

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全2頁)

(21)出願番号

実願平5-71751

(22)出願日

平成5年(1993)12月1日

(71)出願人 594006998

池田 淳

東京都足立区栗原4-13-3

(72)考案者 池田 淳

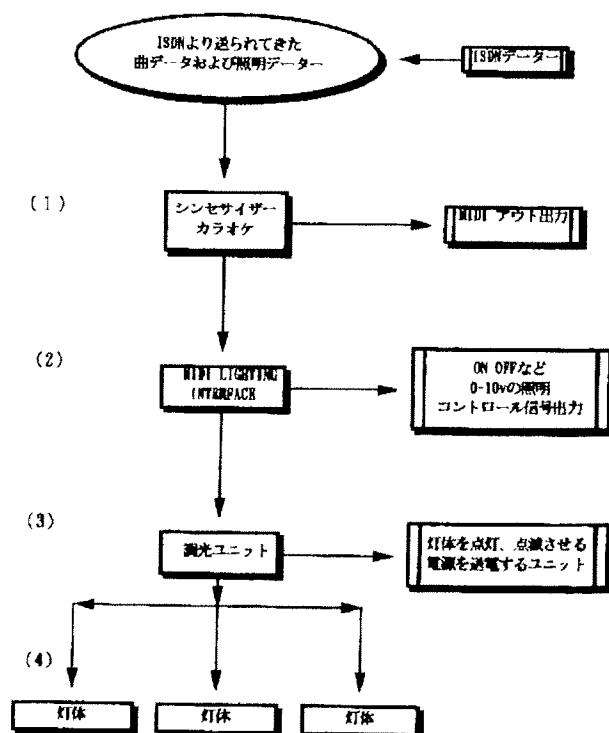
東京都足立区栗原4-13-3

(54)【考案の名称】 ISDNシンセサイザカラオケMIDI照明コントロールシステム

(57)【要約】

【目的】既存のカラオケは音とレーザーディスクが主流だが、マンネリ感を覚え始めた消費者も多い。そこで最近出現したISDNシンセサイザカラオケに照明データと曲データを共存させることにより照明と曲を同期させることにより照明の自動制御が可能になり、消費者をより満足させることが目的である。また、現在のISDNシンセサイザカラオケには、曲ごとのイメージ動画はなく単にLDのBGVだけなので、その画像はすぐに飽きてしまう。このシステムを使うことにより歌っている者も、それを見ている者も楽しめ、よりプロフェッショナルなステージを演出させることができる。

【構成】演出照明をMIDIデータに置き換えることにより、ISDNシンセサイザカラオケで曲データと共に存させ、曲データと同等に管理し、照明を曲ごとに自動制御させることができる。



【実用新案登録請求の範囲】

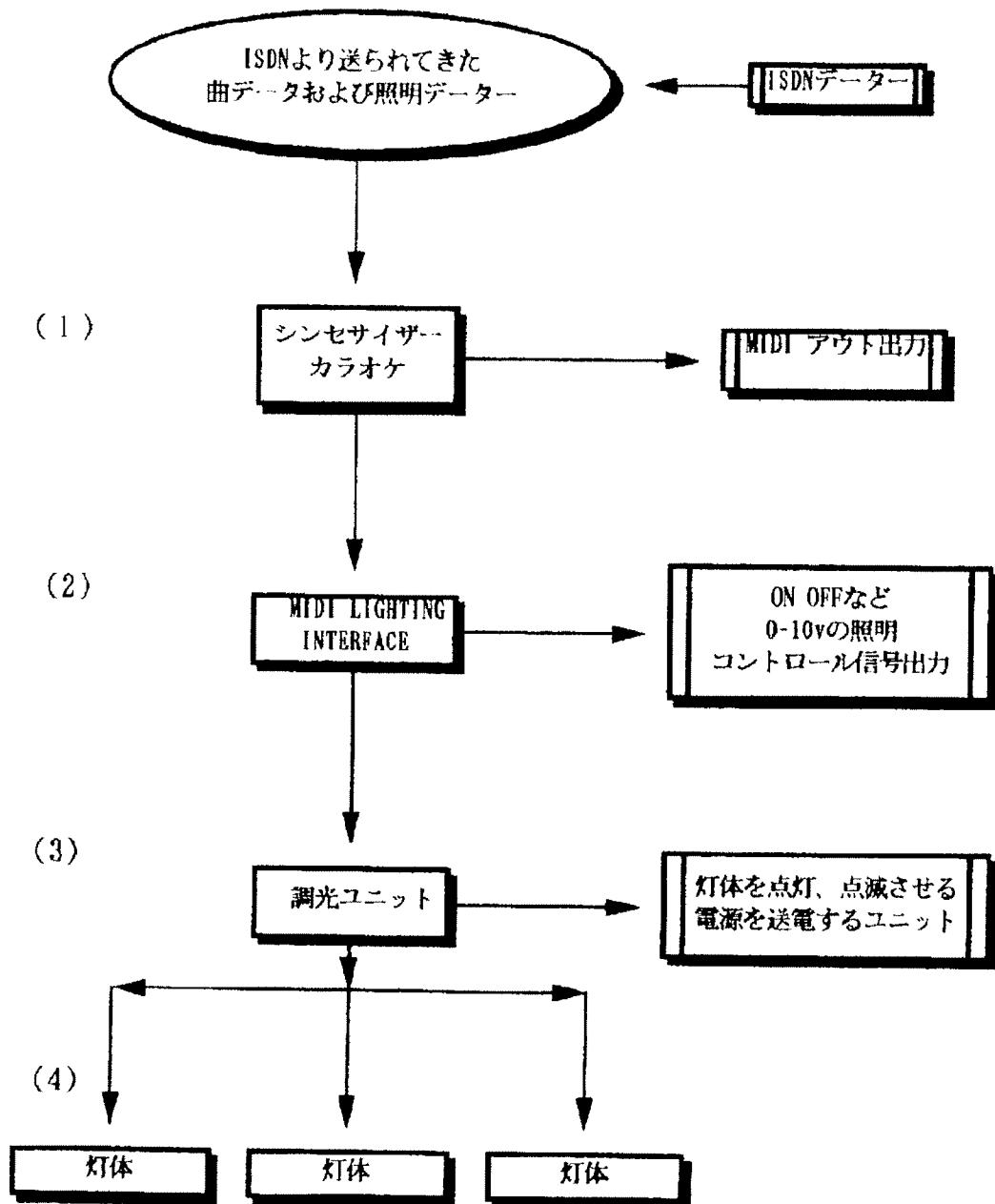
\* ム。

【請求項1】 ISDNシンセサイザーカラオケに曲データーに演出照明を共存させ灯体を自動制御するシステム

【図面の簡単な説明】

【図1】 本案の信号の流れ

【図1】



### 【考案の詳細な説明】

この考案は、I S D Nを使用した通信シンセサイザーカラオケにおいて曲データの中に一曲づつ演出した照明データをM I D Iデータにして共存させ現在のシステムで曲と照明を同期させカラオケの演出をさせるシステムである。

本案は、現在レーザーディスクを使用したものやC Dを使用したカラオケに、マンネリ感を覚え始めた消費者にもっと刺激的な感動や場の盛り上がりを提供するシステムである。

これにより、あらかじめセッティングされた照明機器を曲ごとに自動制御が可能になり同等の照明器材を設置すれば、同じデータで各店舗などへ曲データとともに供給可能になる。

図を用いて説明すれば（1）シンセサイザーカラオケよりM I D Iのアウトを出力させて（2）インターフェースを介し（3）ライティングユニット（調光）を介し（4）各灯体を点灯、点滅させる。

データ的にはM I D Iのコントロールチェンジ信号およびプログラムチェンジ、ノート ON OFFなどを使用する。